

学科名	生、電、建・デ、情、経						
科目名	実用英語 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	野見山 寿美						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>(1) 実社会でよくかわされる簡単な会話やアナウンスを聴きとることができるようになります。</p> <p>(2) TOEICのテストでのスコアアップを目指すと共に、実践的なコミュニケーション力がつきます。</p> <p>(3) 上記の力をつけるための語彙、文法、用法を理解し、使用することができますようになります。</p> <p>(4) 異文化、多様性を理解し、国際感覚を身につけることができます。</p> <p>この科目の修得は、本学部の定めるディプロマポリシー(2)及び(3)の達成に関与しています。</p>						
日程と内容	<p>第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、Pre-test          予習内容：日常的にテレビやラジオの英語放送や英語講座で、英語に耳を慣らしておくこと。英字新聞、外国の雑誌など、興味のある英文にできるだけ多く触れること。          予習時間：45分 復習内容：問題を再度解きながら、学修した語彙と文法の確認すること。リスニング問題を再度聞きながら、発音練習をすること。長文問題を音読して、発音の強化をすること。          復習時間：45分          *以下、予習、復習内容は同様。          TOEICの縮小版のプレテストを実施します。出題形式や難易度を理解し、本番の雰囲気になれるようにします。</p> <p>第2回 予定—動詞・5文型          ・英語の強弱、リズムに慣れる。          ・自動詞と他動詞の区別とその使い方について学ぶ。          ・5文型を確認する。</p> <p>第3回 数量を尋ねる—名詞          ・数量を尋ねる基本的な表現を学習する。          ・名詞の種類、可算名詞と不可算名詞について</p> <p>第4回 命令・依頼—形容詞と副詞          ・命令文と依頼文          ・形容詞と副詞の使い方</p> <p>第5回 広告・宣伝—フレーズ・リーディング          ・広告文、宣伝文の聞き取り方          ・フレーズ・リーディングの方法</p> <p>第6回 時間を尋ねる—動名詞          ・時刻、期日、期間を尋ねる表現          ・動名詞の用法</p> <p>第7回 場所を尋ねる—to不定詞          ・場所を尋ねる表現          ・to不定詞の用法          ・原型不定詞の用法</p> <p>第8回 臨時試験          これまでの学修内容の確認と復習のため、試験を実施します。</p> <p>第9回 確認—分詞          ・付加疑問文と応答の表現          ・現在分詞と過去分詞の用法</p> <p>第10回 留守電—スキミング          ・留守電の基本構成と聞き取り方          ・スキミングの方法</p> <p>第11回 アドバイス—受動態          ・アドバイスを求めたり、与えたりする表現について          ・受動態と能動態の用法</p> <p>第12回 誘い—比較          ・さまざまな誘いの表現          ・原級・比較級・最上級を用いた比較の表現</p> <p>第13回 申し出—関係詞          ・相手に何かを勧める表現          ・関係代名詞と関係副詞の用法</p> <p>第14回 講演者紹介—スキミング          ・講演者紹介の流れと特徴について          ・スキミングの方法</p> <p>第15回 Post-test          ここまでの学修を経て、どのくらいの効果が上がったかを測定するため、Post-testを実施します。</p> <p>定期試験          半期間のまとめのテストを実施します。</p>						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション				
	課題	20%					
	演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	熱心な学生が多く、真面目に取り組んでいた。難しいと感じていた学生もあつたかもしれないが、基礎力のある学生がほとんどなので、実際のTOEIC試験にチャレンジするためには、この程度のレベルが良いのではないかと感じた。後は数をこなして、実際の試験を受けてみることで、自分の力を知ることが何より大切かと思う。						
反省点	学習量の不足を補うために、課題等を課した。課題の提出率も比較的良かったが、中には難しすぎると感じた学生もいたようだった。無理に難易度を上げるより、数を多くこなせあるような課題が必要だったかもしれない。						
来年度の計画	レベルとしては、今期のテキストが適当ではないかと判断している。さらに上記のように、自学のための課題等々を増やす予定でいる。						
授業評価アンケートに対するコメント	自学の時間が少ない。課題等は与えていたが、それ以外の教材を選ぶことができない、もしくは選ぶ気がないことが良くわかった。よって、指導者の方から、なにがしかのヒントを与えて、自分のレベルや興味に合ったテキスト、もしくはメディア等を選び、進んで自学して行けるようにすべきであると考え。実際英語に関心があっても、どう学修したらいいのか、どのレベルからどのように始めたらいいのか、まだわかっていない学生が多くいることに気づかされた。						
履修登録者数	42名	定期試験 受験者数	41名	合格者数	41名	合格率	98%